令和6年度 年度保育士の自己評価

帯広南町保育園

保育所保育指針では、保育の計画や保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り自己評価することで、その専門性の向上や保育実践の改善に努めなければならないとされており、今年度の自分の保育を振り返り、次のA～Dで自己評価をして下さい。

A かなり出来ている B ほぼ出来ている C あまり出来ていない D ほとんど出来ていない

NO. 1

氏名

自己評価の点検		A	B	C	D
I 保育の計画性	1、園の保育理念・保育方針・保育目標の理解				
	○園の保育理念・保育方針・保育目標を理解している。	1	6	2	
	2、保育所保育指針の理解				
	○保育所保育指針の趣旨について理解している。	1	7	1	
	○保育所保育指針が示す「保育所の役割」を理解し保育を行っている。	1	7	1	
	3 保育の全体的な計画の理解				
	○園の全体計画を理解していると思う。	1	4	4	
	4、指導計画の作成				
	○指導計画は、保育指針・全体計画・乳幼児の実態等をもとに考え作成している。	2	7		
	5、環境の構成				
	○安全で清涼感のある環境構成をしている。	1	7	1	
	○乳幼児が自ら活動を展開して行けるような場や空間の構成をしている。	1	7	1	
○乳幼児の動線や目線に配慮した環境構成をしている。	3	3	3		
○季節の変化に応じた環境構成をしている。	2	5	2		
6、保育と計画の評価・反省					
○自分の保育と計画の評価・反省は行うようにしている。	2	4	2		
○評価反省を次の保育と計画に活かせるように行っている。	2	5	1		
○自分の保育を他の職員たちにも見てもらい、それをもとに検討している。		2	6	1	
II 保育の在り方・乳幼児への対応	1、健康と安全				
	○子どもの健康状態を定期的、継続的に把握し健康管理している。	4	5		
	○登園時は視診や検温により幼児の体調が悪くないか確かめている。	5	4		
	○体調が悪そうときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している。	4	5		
	○園内外を清潔に保ち、玩具・遊具の点検を定期的に行い、安全・安心感のある環境作りに努めている。	1	7	1	
	○園内に危険な箇所や物が無い、危険な遊び方はないか観察している。	2	7		
	○感染症の予防に努め、流行病の情報を家庭に伝達している。	3	5	1	
	○気候や子どもの活動に合わせて、温度・湿度・換気などに配慮している。	4	4	1	
	○万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告したり保護者に連絡を取ったり医者に診てもらするなど適切な処置を行っている。	3	5	1	
	2、乳幼児への関わり				
	○一人ひとりの乳幼児をよく観察するように心がけている。	4	5		
	○幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている。	3	5	1	
	○幼児の理解のために保護者と話し合うことがある。	3	6		
	○幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている。	4	5		
	○園児の気持ちに共感しながら一緒に遊ぶ。	2	7		
	○幼児の話をよく聞くようにしている。	4	5		
	○幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉かけをしている。	4	5		
	○幼児の個性や性格、特徴に応じたかかわり方をしている。	3	3	3	
	○「先生のようにやってみよう」と幼児が思うような立振舞を心がけている。	2	3	4	
	○乳幼児期は身体的条件や育成環境などの違いにより、1人ひとり心身の発達に個人差があることを理解し関わっている。	4	4	1	
	○(乳児)おむつ交換時は優しく声かけスキンシップをとりながら行っている。	2	5	1	
	○(乳児)家庭と連携をとりながら、1人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に慣れ、食への意欲を育てている。	2	1	1	
	○(乳児)十分な睡眠がとれるような静かな環境を整え、午睡の状態、SIDS(乳児突然死症候群)のチェックを記録している。	2	3		
	3、保育者同士の協力と連携				
	○乳幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラスを超えて情報を共有している。	2	4	3	
	○指導上必要な園児については、職員全体でよく話し合い、共通理解を持って対応するようにしている。	3	4	2	

自己評価の点検		A	B	C	D
Ⅲ 専門家としての 資質（能力、 良識、適正等）	1、専門家としての能力・良識・義務				
	○幼児の性格や個性を把握するよう努めている。	4	5		
	○朝と帰りのあいさつは、明るく元気に親しみをこめてしている。	5	4		
	○何かをしてもらったら感謝の気持ちを言葉等で表している。	6	3		
	○職務上知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	5	4		
	2、組織の一員としての在り方				
	○子どもの事やクラスの出来事等で必要な事は、園長や主任に報告・連絡・相談をしている。	4	4	1	
	○職員や園、の批判を軽はずみにしていない。	5	3		
	○当番や役割による仕事を理解し職員間でコミュニケーションを密にし互いに助け合っている	3	5	1	
	○教材・教具の管理点検、園内の清掃や整理整頓を実施している。		6	3	
Ⅳ 保護者への 対応	3.研修と研究				
	○研修会等には自己課題・向上心を持って進んで参加している。	2	5	1	1
	○園の遊具や教材、機材について基本的な使い方を知っている。	1	7	1	
	○障がいのある幼児に対応する保育のあり方を学習している。	2	5	2	
Ⅴ 地域との 関わり	1、情報の発信と受信				
	○「クラス便り」で保育実践の内容や意図、保育のポイント、クラスの子どもの様子等を、わかりやすく知らせている。	2	5	2	
	○一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握している。	3	3	3	
	○個々の子どもの様子は、直接話したり連絡帳等を使って伝え合っている。	3	5		
	2、協力と支援				
	○保護者からのさまざまな訴えや意見要望については安易に受けたり、断ったり、無視したりしないで園長や主任等に報告や相談をしている。	5	4		
	3、守秘義務の遵守				
	○保護者や職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない。	5	3	1	
	○園の運営上の情報、個人情報、相談内容等は園内で適切に検討処理し、外部に漏れない配慮をしている。	5	3	1	
	4、対応				
○保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している。	3	6			
○電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいので、手短かに簡潔に要領よく対話することを心がけている。	2	7			
5、クレームへの対処の仕方					
○保護者からクレームがあった場合は、謙虚に話を聞き、園長に連絡・報告・相談している。	5	3	1		
園全体の評価	1、地域との関わり				
	○地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている。	6	2	1	
	○卒園した子どもの情報を得るように努めている。または努めようとしている。	1	5	3	
○子育て支援のあり方について職員全体で話し合っている。		5	4		
<p>令和6年度の職員自己評価結果を公表致します。当園では、保育士一人ひとりが保育所保育指針に基づき、日々の保育実践を振り返り、自己評価を行うことで、専門性の向上と保育の質の改善に努めています。今年度の評価結果から、職員が保育理念や指針を理解し、乳幼児への対応や保護者との連携において高い意識をもって取り組んでいることが確認できました。一方でさらなる改善が必要な点も明らかになり、これを次年度の課題として取り組んでまいります。地域の皆様、保護者の皆様とともに、より良い保育環境を築いていけるよう努力してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。</p>					
<p>来年度の課題</p> <p>令和6年度の自己評価結果を踏まえ、来年度の課題として以下の点に取り組んでまいります。保育計画のさらなる充実、保育理念や指針を深めるとともに、指導計画の作成において乳幼児の個性や実態をより的確に反映させる工夫を進めます。また、乳幼児の動線や、目線に配慮した環境づくりを強化し、季節の変化に応じた柔軟な対応を目指します。保育者間の連携強化では、職員同士の情報共有をさらに密にし、クラスを超えた協力体制を構築することで、保育の質を向上させます。また、保護者への情報発信をわかりやすく行い、家庭との連携を深めることで、子ども一人ひとりに合わせた支援を充実させます。これらの課題に取り組むことで、保育の質をさらに向上させ、子ども達が安心して成長できる環境を提供してまいります。</p>					